

SAP.C-TS4FI-2023.v2026-05-30.q92

試験コード : C-TS4FI-2023

試験名称 : SAP Certified Associate - SAP S/4HANA Cloud Private Edition, Financial Accounting

認証ベンダー : SAP

無料問題の数 : 92

バージョン : v2026-05-30

ページの閲覧量 : 104

問題集の閲覧量 : 938

<https://www.jpnsshiken.com/shiken/SAP.C-TS4FI-2023.v2026-05-30.q92.html>

質問: 1

次の組織要素のうち、複数の会社コードで共有できるものはどれですか? 注: この質問には3つの正解があります。

- A. セグメント
- B. 植物
- C. ビジネスエリア
- D. 営業組織
- E. 利益センター

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 2

リリースされた API を調べるために使用できるのは次のどれですか?

- A. SAP アプリケーション インターフェース フレームワーク
- B. SAP ビジネスアクセラレータハブ
- C. SAP統合スイート

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 3

顧客からの入金を、支払差額に対する残余項目として計上します。どのような影響がありますか? 注 :この質問には2つの正解があります。

- A. 残余項目は原価勘定に償却されます。
- B. 残余品目は新たな売掛金になります。
- C. 元の未決済項目と残余項目の両方が未決済項目としてアカウントに残ります。
- D. 元の文書と支払いがクリアされます。

正解: B,D ([コメントを发表する](#))

* 未払金が新たな売掛金となる：未払金を含む入金を計上すると、入金でカバーされない残高が新たな売掛金として扱われます。つまり、顧客の口座に未払金を表す新たな未決済明細が作成されます。

* 原本伝票と支払いが決済済み：会計システムにおいて、原本の請求書と支払いが決済済みとなります。これは、支払いと原本の請求書を照合し、原本の請求書のステータスを「決済済み」に更新し、残額について新たな未決済明細を作成することを意味します。

参考文献

* これらのプロセスをSAP内で管理する方法の詳細については、SAPのトレーニング資料および設定ドキュメントをご覧ください。特に、残余項目の取り扱いと消込プロセスについては、SAP FICOモジュールのドキュメントで詳しく説明されています。

質問: 4

顧客の未処理項目をクリアしましたが、このアクションを元に戻したいと考えています。利用可能なオプションは何ですか? 注: この質問には2つの正解があります。

- A. 決済伝票をリセットする
- B. 決済伝票をリセットして取り消す
- C. 決済伝票を元に戻す
- D. 決済書類を再投稿する

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 5

仕入先口座の未決済項目について外貨評価を実施します。この評価は期末レポートにのみ使用され、その後は取り消し処理が必要となります。

評価差異を記帳するためにシステムはどのアカウントを使用しますか?

- A. 特別なG/Lインジケータを持つ個別の仕入先アカウント
- B. 外貨調整勘定
- C. 代替調整勘定科目
- D. 仕入先調整勘定科目

正解: [\(正解を表示します\)](#)

SAP S/4HANAでは、期末に仕入先勘定の未決済明細を再評価するために外貨評価が行われます。この評価は期末報告のみを目的としており、取り消し処理が行われるため、評価差額は特定の勘定科目に転記されます。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

B. 外貨調整勘定

* 正解：外貨調整勘定は、外貨の再評価に伴う評価差額を記録するために特別に設計されています。この勘定は、為替レートの変動による未実現利益または損失を計上するために使用されます。評価は一時的なものであり、後で元に戻されるため、調整勘定によって仕入先調整勘定は影響を受けません。

* 参考: SAP ドキュメントによると、外貨調整勘定は、外貨再評価時に評価差額を転記するために使用される標準勘定です。

A. 特別なG/Lインジケータを持つ個別の仕入先アカウント

* 誤り: 特別な仕入先勘定科目 (例: 頭金保証金) を持つ仕入先勘定科目は、外貨評価差額の計上には使用されません。これらの勘定科目は特定の取引のために確保されており、一時的な評価調整を記録する目的には使用されません。

* 参考: 特殊勘定科目区分は、独自の会計処理に使用されますが、外貨評価転記には関係ありません。

C. 代替調整勘定科目

* 誤り: 代替調整勘定科目は、代替勘定割当など、特定の調整目的で使用されるオプションの勘定科目です。外貨評価差額の記帳には使用されません。仕入先の主な調整勘定科目は、評価プロセス中は変更されません。

* 参考: 代替調整勘定は外貨評価転記には関係しません。

D. 仕入先調整勘定科目

* 誤り: 仕入先取引の照合に使用する主な勘定科目は仕入先照合勘定です。しかし、外貨評価においては、仕入先勘定の実残高の変更を避けるため、この勘定科目に直接転記は行われません。代わりに、評価差額は調整勘定科目に転記されます。

* 参考: 調整勘定は実際の取引時にのみ更新され、外貨評価などの一時的な調整時には更新されません。

SAP S/4HANA ドキュメントへの主な参照:

* 外貨評価のための SAP S/4HANA Finance: 未処理明細の評価差異を転記する際の調整 G/L 勘定の役割について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 外貨再評価: 調整勘定の使用を含む外貨評価の設定と実行に関する詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA の統制勘定: 外貨転記の統制勘定と調整勘定の違いを強調します。

* 期末処理アクティビティ: 期末レポートの一環として外貨評価がどのように実行され、取り消されるかを説明します。

質問: 6

顧客と 10,000 ユーロの金額を保証する契約を締結しました。この保証を SAP S/4HANA に記録するとどうなるでしょうか?

A. 2つの統計項目

B. 注目すべき2つの項目

C. 注目の項目1つ

D. 1つの統計項目

正解: [\(正解を表示します\)](#)

SAP S/4HANAでは、保証は通常、注記項目として記録されます。これは、保証が会計に直接的な財務的影響を与えないコミットメントまたは約束を表すためです。注記項目は、システム内で実際の転記や未消込明細を作成せずに、情報提供を目的としてこのような合意を文書化するために使用されます。

それぞれの選択肢を分析して正しい答えを決定してみましょう。

各オプションの説明:

C. 注目の項目1つ

* 正解: SAP S/4HANAで保証を記録すると、注記項目が1つ登録されます。注記項目とは、契約の参照となる統計転記です（例EURの保証）。

最大 10,000 円)。アカウント残高に影響を与えたり、未決済項目を作成したりすることはありませんが、レポート作成や追跡のために契約を可視化することができます。

* 参照: SAP ドキュメントによれば、保証および類似のコミットメントは、実際の財務取引や転記を伴わないため、注記項目として文書化されます。

A. 2つの統計項目

* 誤り: 保証金を記録しても、統計明細が2つ生成されるわけではありません。代わりに、契約内容を文書化するための注記項目が1つ作成されます。統計明細は通常、口座残高を更新する実際の記帳に関連付けられますが、保証金の場合はそうではありません。

* 参照: 保証は純粹に情報提供のみを目的としており、複数の統計項目は含まれません。

B. 注目すべき2つの項目

* 誤り: 保証を記録する際に記録される注記項目は1つだけです。保証は単一の合意または約束を表すため、注記項目を2つ作成する必要はありません。システムは参照用としてこれを1つのエントリとして記録します。

* 参照: SAP S/4HANA は、システムの簡潔性と明確性を維持するために、保証を単一の注記項目として記録します。

D. 1つの統計項目

* 誤り: 注記項目は統計計上と呼ばれることもありますが、この文脈では「注記項目」が正しい用語です。統計明細項目は、口座残高を更新する実際の計上を意味しますが、保証の場合はそうではありません。したがって、この選択肢は誤りです。

* 参照: 保証は財務残高に影響を与えないため、統計項目ではなく注記項目として文書化されます。

SAP ドキュメントへの主な参照:

* 売掛金および買掛金向け SAP S/4HANA Finance: 保証およびその他の非転記コミットメントに関する注記項目の使用について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 注記項目: 保証などの契約を文書化するために注記項目を使用する方法について詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA の複式簿記: 勘定残高に影響する記録された項目と実際の転記の違いを強調します。

* 総勘定元帳エントリ ビュー: 情報提供の目的で、メモされた項目がエントリ ビューにどのように記録されるかを説明します。

質問: 7

特定の元帳に定義できる通貨の種類は次のうちどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 60 グローバル企業通貨
- B. 00 = 文書の通貨
- C. 10 会社コード通貨
- D. 30 グループ通貨
- E. 40 ハード通貨

正解: **B,C,D** ([コメントを发表する](#))

質問: 8

新しい標準元帳を定義するときに、一般仕訳を手動で転記するには、どのようなアクションを実行する必要がありますか？

- A. 元帳を元帳グループに含める
- B. 元帳を会社コードに割り当てる
- C. 元帳に勘定科目の表を割り当てる
- D. 基礎となる元帳を定義する

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 9

G/L アカウムの勘定科目チャート レベルで管理されるフィールドはどれですか？ 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. グループアカウント番号
- B. 短いテキスト
- C. フィールドステータスグループ
- D. アカウムのグループ
- E. 代替口座番号

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 10

統合資産取得の技術決済勘定はカスタマイジングで定義します。どのような前提条件を満たす必要がありますか？ 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. アカウムのは貸借対照表アカウントです。
- B. アカウムのはオープン項目管理対象として定義されています。
- C. アカウムのは、各資産クラスのアカウント決定で定義されます。
- D. アカウムのは固定資産の調整アカウントとして定義されます。

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANA Cloudのあらゆるリファレンスを含む包括的な詳細解説。SAP S/4HANAでは、統合資産取得において、テクニカル・クリアリング・アカウントは、購買発注を通じて取得した資産の価値を最終決済が行われるまで一時的に保管するために使用されます。テクニカル・クリアリング・アカウントを正しく設定するには、特定の前提条件を満たす必要があります。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

SAP S/4HANA で使用できる実地棚卸方法はどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 標準的な在庫管理方法
- B. 継続的在庫管理法
- C. 定期在庫管理法
- D. 実在庫法
- E. サイクルカウント法

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAでは、実地棚卸手法を用いて、システムに記録された在庫数量を実際の実地棚卸数と比較することで、その正確性を検証します。これらの手法は、組織が正確な在庫記録を維持し、財務および業務上の要件を遵守するのに役立ちます。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけてみましょう。

各オプションの説明:

B. 継続的在庫管理法

* 正解: 継続棚卸法では、組織は日常業務を中断することなく、継続的に実地棚卸を実施できます。この方法は、頻繁な検証が必要な高価値品や重要品目に特に有効です。在庫はいつでも棚卸でき、差異は即座に解決されます。

* 参考: SAP ドキュメントによると、継続的な在庫管理方法は、定期的およびアドホックな在庫チェックをサポートし、最新の在庫精度を保証します。

C. 定期在庫管理法

* 正解: 定期棚卸法では、特定の間隔（例：月次四半期、年次）ですべての在庫品目の実地棚卸を実施します。この方法は、通常、法定または財務報告の要件を遵守するために使用されます。これにより、定められた時点における在庫残高の包括的なレビューが可能になります。

* 参考: SAP ドキュメントでは、定期的な棚卸法が年度末処理や規制監査に広く使用されていることが強調されています。

E. サイクルカウント法

* 正解: 循環棚卸法は、在庫をカテゴリー（例えば、金額や回転率に基づいて）に分割し、年間を通して各カテゴリーの棚卸をスケジュールします。この方法は、業務への影響を最小限に抑え、すべての商品を少なくとも年に1回は棚卸することを保証します。この方法は、在庫量の多い倉庫でよく使用されます。

* 参考: SAP は、実地棚卸のために完全な停止を必要とせずに在庫の精度を維持する効率的な方法として循環棚卸をサポートしています。

A. 標準的な在庫管理方法

* 誤り: 「標準棚卸方法」という用語は、SAP S/4HANA では実地棚卸方法として認識されていません。代わりに、SAP は継続棚卸、定期棚卸、循環棚卸といった特定の方法を提供しています。このオプションは無効です。

* 参考: SAP では、在庫管理プロセスの一部として「標準在庫方法」を定義していません。

D. 実在庫法

* 誤り：「実在庫法」という用語は、SAP S/4HANA では実在庫法として認識されていません。「実在庫」は実在庫を指しますが、実在庫の具体的な実施方法を指すものではありません。このオプションは無効です。

* 参考資料：SAPは、「実在庫方式」といった一般的な用語ではなく、継続的、定期的、循環的な棚卸しといった具体的な棚卸方法に重点を置いています。SAP S/4HANAドキュメントへの主な参考資料：

* SAP S/4HANA 在庫管理：継続的、定期的、循環棚卸などの利用可能な実地棚卸方法について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 実地棚卸プロセス：SAP S/4HANA での実地棚卸方法の設定と実行に関する詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA での循環棚卸：業務を中断せずに在庫の精度を維持するために循環棚卸を使用する方法について説明します。

* 定期的な在庫プロセス：特定の間隔で包括的な在庫検証を行うための定期的な在庫の使用を強調します。

質問: 12

代替勘定をG/L勘定に割り当てようとしたが、エラーメッセージが表示されます。原因は何でしょうか？

A. 会社コードに対して代替アカウントが作成されていません。

B. 運用勘定科目に代替勘定科目を割り当てていません。

C. 代替アカウントは、会社コードの別の G/L アカウントにすでに割り当てられています。

D. 会社に代替勘定科目を割り当てていません。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 13

外貨評価の際に考慮される項目は何ですか？注：この質問には2つの正解があります。

A. 貸借対照表勘定の項目の残高評価が未決済項目管理として定義されていません

B. 元帳グループ固有の未決済項目管理で定義された貸借対照表勘定の項目の残高評価

C. 未決済項目管理として定義された貸借対照表勘定の行項目評価

D. 貸借対照表勘定の行項目評価が調整勘定として定義されていません

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAでは、特定の基準日（月末や年度末など）の為替レート変動に基づいて、外貨建て残高の現地通貨換算額を調整する外貨評価が行われます。評価プロセスでは、特定の勘定科目の種類と設定が考慮されます。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

A. 貸借対照表勘定の項目の残高評価が未決済項目管理として定義されていません

* 正解：外貨評価には、未決済項目管理として定義されていない貸借対照表勘定の残高評価が含まれます。これらの勘定には通常、固定資産、資本勘定、またはその他の非調整貸借対

照表勘定が含まれます。これらの勘定は明細レベルの調整を必要としないため、システムは残高レベルで評価を実行します。

* 参考: SAP ドキュメントによると、外貨評価時に未消込明細管理のない口座には残高評価が適用されます。

C. 未決済項目管理として定義された貸借対照表勘定の行項目評価

* 正解: 貸借対照表勘定が未決済項目管理として定義されている場合、外貨評価は明細レベルで行われます。これにより、個々の未決済項目（仕入先請求書や顧客請求書など）が、適用可能な為替レートに基づいて再評価されます。未決済項目管理勘定には通常、買掛金、売掛金、銀行決済口座が含まれます。

* 参照: SAP ドキュメントでは、未処理取引の正確な再評価を確実にするために、未消込明細管理のあるアカウントに対して明細評価が使用されることが規定されています。

B. 元帳グループ固有の未決済項目管理で定義された貸借対照表勘定の項目の残高評価

* 誤り: 元帳グループ固有の未消込明細管理は、外貨評価方法に影響を与えません。未消込明細管理が設定されている勘定科目は、元帳グループの設定に関わらず、常に明細レベルで評価されます。したがって、このオプションは誤りです。

* 参照: 元帳グループは、転記用の元帳の可用性を制御しますが、未消込明細管理勘定の評価方法には影響しません。

D. 貸借対照表勘定の行項目評価が調整勘定として定義されていません

* 誤り: 外貨評価は通常、調整勘定（例: 買掛金、売掛金、銀行口座）に対して行われます。費用勘定や収益勘定などの非調整勘定は外貨評価の対象ではありません。したがって、この選択肢は誤りです。

* 参照: 調整勘定は外貨評価用に特別に設計されており、非調整勘定はこのプロセスから除外されます。

SAP S/4HANA ドキュメントへの主な参照:

* 外貨評価のための SAP S/4HANA Finance: 外貨評価のプロセスと関連する口座の種類について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 外貨評価: 外貨評価時に残高と明細項目の評価を実行する方法について詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA の未消込明細管理: 未消込明細管理が貸借対照表勘定の評価プロセスにどのように影響するかについて説明します。

* 調整勘定: 外貨評価における調整勘定の役割を強調します。

質問: 14

カスタマイジングで統合資産取得の技術決済勘定をどのレベルで定義できますか? 注意: この質問には 2 つの正解があります。

A. 勘定科目表

B. アカウント決定

C. 資産クラス

D. 減価償却領域

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 15

統合資産取得の技術決済勘定はカスタマイジングで定義します。どのような前提条件を満たす必要がありますか？ 注: この質問には2つの正解があります。

- A. このアカウントは固定資産の調整アカウントとして定義されています。
- B. アカウントは貸借対照表アカウントです。
- C. アカウントは、各資産クラスのアカウント決定で定義されます。
- D. アカウントはオープン項目管理対象として定義されています。

正解: A,B ([コメントを發表する](#))

質問: 16

統合の準備を直接サポートするために使用されるオブジェクトはどれですか？

- A. セグメント/利益センター
- B. 機能領域
- C. 元帳/元帳グループ
- D. 会社/取引先

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAでは、連結の準備を直接サポートするオブジェクトは会社です。

/取引先。取引先フィールドは、連結会社間の調整および連結プロセスに不可欠です。グループ内の異なる事業体間の連結会社間取引の識別と照合に役立ちます。

* 会社: 連結財務諸表を作成する必要がある企業グループ内の個々の事業体を表します。

* 取引先: このフィールドは、連結プロセス中に同じグループ内の異なる会社間の取引が適切に削除されるように、会社間取引を記録するために使用されます。

SAP S/4HANA は、会社/取引先を使用することで、連結会社間取引と連結の複雑さを処理する堅牢なメカニズムを提供し、正確でコンプライアンスに準拠した財務報告を保証します。

参考文献

* [25:27+手順 新規要素の作成(Cta,PosLiq,Cege,Fondo,Recurrencia)v2 (1).docx]

* [28:1+1709119988077.pdf]

有効的な**C-TS4FI-2023**問題集はJPNTTest.com提供され、**C-TS4FI-2023**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**C-TS4FI-2023**試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-TS4FI-2023試験問題集はもう更新されました。ここで**C-TS4FI-2023**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-TS4FI-2023-mondaishu> **92問、30%ディスカウ**
ント、特別な割引コード: JPNshiken」

質問: 17

SAP S/4HANA の注記項目の概念を説明する必要があります。

注目のアイテムに特有の特徴は何ですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 統計投稿を生成します。
- B. バランスが取れない転記を生成します。
- C. エントリ ビューでのみ総勘定元帳を更新します。
- D. 顧客アカウントと仕入先アカウントの未処理項目として管理されます。
- E. 支払プログラムおよび督促プログラムからアクセスできます。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 18

締め切り前の活動として、選択されたサプライヤーは残高を確認します。

不一致がある場合にのみ応答が求められる場合、どの確認手順を使用しますか?

- A. 残高通知
- B. 残高リクエスト
- C. アカウント明細書
- D. 残高確認

正解: A ([コメントを发表する](#))

質問: 19

総勘定元帳アカウントを作成しようとしたのですが、アカウント番号が許容範囲内にないため、エラーが発生します。

数値の範囲を拡張するにはどのオブジェクトをカスタマイズする必要がありますか?

- A. 勘定科目表
- B. アカウントの種類
- C. 許容範囲グループ
- D. アカウントグループ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 20

勘定科目を新しい会社コードに拡張しようとしていますが、データが不完全であるためエラーが発生します。フィールドステータスですべてカスタマイズ可能です。

G/L アカウントを拡張するときに常に管理する必要があるフィールドはどれですか?

注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. アカウント通貨
- B. 口座番号
- C. ソートキー
- D. フィールドステータスグループ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 21

GR/IR アカウントの残高がゼロではないことに気付きました。

原因は何でしょうか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 発注書には、数量と値が同じ商品受領書と請求書受領書があります。
- B. 発注書には、数量は同じだが値が異なる商品受領書と請求書受領書があります。
- C. 発注書には、まだ請求書を受け取っていない部分的な商品受領が含まれています。
- D. 発注書には部分的な請求書受領がありますが、まだ商品受領はありません。

正解: ([正解を表示します](#))

GR/IR (入庫請求書受領) 決済勘定は、調達プロセスにおける入庫と請求書受領のタイミングの差異を相殺するために使用される調整勘定です。GR/IR 勘定の残高がゼロでない場合、入庫と請求書受領の間に不一致の転記があることを示します。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

C. 発注書には、まだ請求書を受け取っていない部分的な商品受領が含まれています。

* 正解: 部分入庫が転記されると、システムは在庫勘定 (または費用勘定) を借方記入し、入庫/請求明細書勘定を貸方記入します。この部分入庫に対応する請求書受領が転記されていない場合、入庫/請求明細書勘定は貸方残高のまま未決済のままとなります。これは、入庫/請求明細書残高がゼロでない一般的な原因です。

* 参照: SAP のドキュメントによると、不一致の入庫は GR に未処理明細として残ります。対応する請求書を受け取られ、投稿されるまで、IR アカウントに記録されます。

D. 発注書には部分的な請求書受領がありますが、まだ商品受領はありません。

* 正解: 対応する入庫がない状態で一部請求書受領が転記された場合、システムは入庫/請求明細書勘定を借方記入し、仕入先勘定を貸方記入します。入庫がまだ転記されていないため、入庫/請求明細書勘定は借方残高のまま未決済のままとなります。これは、入庫/請求明細書残高がゼロでない場合によくある原因の 1 つです。

* 参照: SAP ドキュメントでは、不一致の請求書受領によって GR に未処理項目が作成されることが強調されています。

対応する商品受領書が転記されるまで、IR アカウントに記録されます。

A. 発注書には、数量と値が同じ商品受領書と請求書受領書があります。

* 誤り: 購買発注、数量と金額が同じ入庫と請求書受領がある場合、入庫/請求明細書の残高は一致します。入庫/請求明細書の貸方記入と請求書受領の借方記入により、残高はゼロになります。このシナリオでは、入庫/請求明細書の残高はゼロになりません。

* 参照: 数量と値が一致すると、GR/IR アカウントが自動的にクリアされます。

B. 発注書には、数量は同じだが値が異なる商品受領書と請求書受領書があります。

* 誤り: 入庫と請求書受領の金額の差異は価格差異につながる可能性がありますが、これらの差異は通常、別々の勘定科目 (例: 材料価格差異勘定または価格差額勘定) に計上されません。入庫/請求勘定自体は、数量が一致しているため、残高が一致しているはずですが、システムは入庫/請求勘定を金額ではなく数量に基づいて消込します。

* 参照: 値の差異は、GR/IR アカウントを開いたままにするのではなく、差異アカウントを通じて処理されます。

SAP S/4HANA ドキュメントへの主な参照:

- * 調達プロセス向け SAP S/4HANA Finance: 商品受領と請求書受領が GR/IR 決済口座にどのような影響を与えるかを説明します。
- * SAP ヘルプ ポータル - GR/IR 決済口座: GR/IR 口座の未消込明細の原因とその解決方法について詳細なガイダンスを提供します。
- * GR/IR アカウントの調整: 一致しない商品受領と請求書受領をクリアするプロセスについて説明します。
- * FI-GL との調達統合: 財務会計で GR/IR 転記がどのように管理されるかを強調します。

質問: 22

カスタマイズアクティビティ「元帳と通貨タイプの設定の定義」で設定できる通貨タイプは次のどれですか?

この質問には正解が2つあります。

- A. 取引通貨
- B. 現地通貨
- C. グループ通貨
- D. 品目元帳通貨

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 23

顧客と10,000ユーロの金額を保証する契約を締結しました。

この保証を SAP S/4HANA に記録すると、どのような結果になりますか?

- A. 注目の項目1つ
- B. 1つの統計項目
- C. 注目すべき2つの項目
- D. 2つの統計項目

正解: [B \(コメントを発表する\)](#)

質問: 24

外貨評価の際に考慮される項目は何ですか?

注: この質問には2つの正解があります。

- A. 未決済項目管理として定義された貸借対照表勘定の行項目評価
- B. 貸借対照表勘定の項目の残高評価が未決済項目管理として定義されていません
- C. 元帳グループ固有の未決済項目管理で定義された貸借対照表勘定の項目の残高評価
- D. 貸借対照表勘定の行項目評価が調整勘定として定義されていません

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 25

売掛金管理の理由コードで何を制御できますか? 注: この質問には3つの正解があります。

- A. 支払いの文書の種類

- B. 残余項目が計上される勘定
 - C. 顧客に送信される支払通知の種類
 - D. 信用限度額チェックから紛争残余品目を除外する
 - E. 頭金の特別勘定科目
- 正解: ([正解を表示します](#))

質問: 26

資産の減価償却計算を実行します。特定の資産については、資産マスターデータで指定された減価償却額を転記したいと考えています。

これをどのように達成するのでしょうか？

- A. アカウント割り当て設定で「同一」パラメータを無効に設定することにより
- B. 対応するエラーを構成によって警告に変更することにより
- C. 財務会計明細項目に代替品を作成することにより
- D. 資産マスターデータからコストセンターを削除することにより

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 27

クリーンなコア統合を実現するために SAP が推奨する API タイプは次のうちどれですか？注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. IDoc
- B. RFC
- C. ソープ
- D. Oデータ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 28

貴社は IFRS 会計原則に従っており、「ロンスシューマー製品」と「プロフェッショナル製品」という 2 つの主要部門の完全な財務諸表を発行する必要があります。

このシナリオでセグメントレポートを実現するには何が必要ですか？注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 事業分野
- B. 利益センター
- C. 収益性セグメント
- D. セグメント
- E. ドキュメントの分割

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 29

売掛金管理の理由コードで何を制御できますか？注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 信用限度額チェックから紛争残余品目を除外する

- B. 支払いの文書の種類
- C. 顧客に送信される支払通知の種類
- D. 残余項目が計上される勘定
- E. 頭金の特別勘定科目

正解: **A,C,E** ([コメントを发表する](#))

質問: 30

どのようなシナリオでテクニカル決済口座が計上されますか?

注: この質問には2つの正解があります。

- A. 建設中の資産への投資注文の決済
- B. 資産クラス間の資産振替転記
- C. 資産を勘定科目として割り当てた購買発注の評価済商品受領
- D. 仕入先請求書による直接資産取得転記 (発注書にリンクされていない)

正解: **C,D** ([コメントを发表する](#))

質問: 31

複数の会社コードを1回の支払処理に含めることを希望しています。会社コードの前提条件は何ですか?

- A. 同じ国に所在している必要があります。
- B. すべて同じ会社に属している必要があります。
- C. 同じ制御領域に属している必要があります。
- D. 支払い取引の構成は同じである必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

有効的な**C-TS4FI-2023**問題集はJPNTTest.com提供され、**C-TS4FI-2023**試験に合格することに役に立ちます! JPNTTest.comは今最新**C-TS4FI-2023**試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-TS4FI-2023試験問題集はもう更新されました。ここで**C-TS4FI-2023**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-TS4FI-2023-mondaishu> **92問、30%ディスカウ**
ント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 32

どの SAP Fiori アプリがどのデータベースでも実行できますか? 注: この質問には2つの正解があります。

- A. 銀行振込
- B. 勘定科目の管理
- C. 買掛金の概要
- D. 顧客会計書類

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 33

発注書を参照せずに、資産取得に対する仕入先請求書を転記します。
どのような会計書類が生成されますか？

- A. 会計原則ごとに1つの文書
- B. 会計原則ごとに別々の文書を作成する
- C. すべての会計原則を1つの文書にまとめる
- D. 会計原則ごとに1つの文書と、すべての会計原則に対して1つの文書

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 34

減価償却領域01の特徴は何ですか？ 注 :この質問には2つの正解があります。

- A. 他の領域から値を引き継ぐことはできません。
- B. 主要元帳 OL にリンクされている必要があります。
- C. 常にリアルタイムで投稿する必要があります。
- D. 原価計算評価領域タイプとして定義する必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 35

SAP S/4HANA では、唯一の真実のソースを表すユニバーサルジャーナル (テーブル ACDOCA) が導入されました。

ACDOCA テーブルにはどの明細項目が記録されますか？ 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. コストセンターの予算コスト
- B. 連結会社間転記
- C. 配布によって生じる主なコスト
- D. 評価から生じる二次コスト
- E. 減価償却額を計画する

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 36

支払いが必要な請求書を入力するときに、システムはどの日付を決定する必要がありますか？

- A. 基準日
- B. 参照日
- C. 支払日
- D. 注文日

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 37

貴社では、売上原価会計に基づいて損益計算書を作成しています。どの組織単位を定義する必要がありますか？

- A. 利益センター
- B. ビジネスエリア
- C. セグメント
- D. 機能領域

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAで売上原価会計に基づいて損益計算書 (P&L) を構築するには、適切な組織単位を定義することが重要です。適切な組織単位は以下のとおりです。

機能領域: 機能領域では、機能に応じて経費を分類できます (例:

例えば、生産、販売、管理など)。この分類は、コストを対応する収益創出活動と整合させ、組織内のさまざまな機能の収益性を明確に把握できるため、売上原価計算には不可欠です。

機能領域を設定すると、損益計算書がコスト構造を正確に反映し、詳細な財務分析と意思決定をサポートできるようになります。

参考文献

* [25:25+SAP 4_HANA FICO.pdf]

組織の割り当てとプロセス統合

質問: 38

2つの通貨間の通貨換算比率をどのレベルで維持しますか？

- A. 為替レートの種類
- B. 通貨の種類
- C. ドキュメントタイプ
- D. 評価タイプ

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANA Cloudのすべてのリファレンスを含む包括的で詳細な説明 SAP S/4HANAでは、2つの通貨間の通貨換算比率は為替レートタイプレベルで管理されます。為替レートタイプは、異なるタイプの為替レート (例: 米ドル、ユーロ、米ドル) を定義および管理するために使用されます。

為替レートの変動 (例: 平均買値、売値) と、それに対応する為替レートの比率について考えてみましょう。それぞれの選択肢を分析して正解を導き出しましょう。

各オプションの説明:

- A. 為替レートの種類

* 正解: 為替レートタイプは、通貨換算比率を管理する組織レベルです。為替レートタイプは、外貨評価や財務諸表の換算といった通貨換算プロセスにおいて、為替レートの計算方法や適用方法を定義します。例えば、平均レートには為替レートタイプ M」、購買レートには B」を使用します。

* 参照: SAP ドキュメントによると、為替レートタイプはカスタマイジングで設定され、2つの通貨間の比率 (直接見積または間接見積など) を維持するために使用されます。

B. 通貨の種類

* 誤: 通貨タイプとは、伝票通貨、会社コード通貨、グループ通貨など、特定の状況で使用される通貨の分類を指します。通貨間の換算比率を定義するものではありません。取引またはレポートで使用される通貨の種類を指定します。

* 参照: 通貨タイプは通貨設定の一部ですが、為替レート比率の維持とは関係ありません。

C. ドキュメントタイプ

* 誤り: 伝票種別は、財務伝票 (請求書支払など) を分類し、システム内での処理方法を制御します。通貨換算比率に影響を与えたり、維持したりするものではありません。

ドキュメントタイプは、通貨の為替レートではなく、財務転記の構造と処理に重点を置いています。

* 参照: ドキュメントタイプは転記ルールとドキュメント番号付けに使用されますが、通貨換算とは関係ありません。

D. 評価タイプ

* 誤り: 評価タイプは、資材管理 (MM) および在庫会計において、様々な評価戦略 (例: 標準原価、移動平均原価) を区別するために使用されます。財務会計における為替換算比率の維持には関係ありません。

* 参照: 評価タイプは在庫と材料の評価に固有のものであり、通貨換算には適用されません。

SAP S/4HANA ドキュメントへの主な参照:

* 通貨換算のための SAP S/4HANA Finance: 為替レートタイプを使用して通貨換算比率を定義および維持する方法について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 為替レートの種類: 為替レートの種類の設定と通貨換算におけるその役割に関する詳細なガイダンスを提供します。

* 外貨評価プロセス: 財務会計における外貨評価時に為替レートの種類がどのように適用されるかを説明します。

* 為替レートのカスタマイズ: SAP S/4HANAで為替レート比率を維持するための手順を強調表示します。

/4 仕事。

質問: 39

顧客の未決済明細を決済しましたが、この操作を元に戻したい場合、どのような選択肢がありますか？

注: この質問には2つの正解があります。

A. 決済書類を再投稿する

B. 決済伝票をリセットする

C. 決済伝票をリセットして取り消す

D. 決済伝票を元に戻す

正解: B,C ([コメントを发表する](#))

質問: 40

内部取引照合および調整ツールの照合結果はどこで確認できますか？

- A. ユニバーサルジャーナルテーブル (ACDOCA)
- B. 連結ジャーナルテーブル (ACDOCU)
- C. 会計文書セグメントテーブル (BSEG)
- D. アプリケーション固有のテーブル (CADOCM) 内

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 41

15の法人からなる企業グループの連結財務報告書を作成したいと考えています。S/4HANAシステムには、1つのクライアントで10の会社コードが定義されています。その他の会社は、それぞれ別のレガシーシステムを使用しています。統合シナリオに対応するために、SAP S/4HANA システムでいくつの会社を定義する必要がありますか？

- A. 10
- B. 15
- C. 01
- D. 05

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 42

勘定科目を新しい会社コードに拡張しようとしていますが、データが不完全であるためエラーが発生します。すべてのカスタマイズ可能なフィールドが、フィールドステータスでオプションに設定されています。

G/L アカントを拡張するときに常に更新する必要があるフィールドはどれですか？注: この質問には2つの正解があります。

- A. フィールドステータスグループ
- B. 口座番号
- C. ソートキー
- D. アカント通貨

正解: A,D ([コメントを发表する](#))

質問: 43

SAP S/4HANA の注記項目の概念を説明する必要があります。

注目のアイテムに特有の特徴は何ですか？注: この質問には3つの正解があります。

- A. 支払プログラムおよび督促プログラムからアクセスできます。
- B. 顧客アカウントと仕入先アカウントの未処理項目として管理されます。
- C. 統計投稿を生成します。
- D. バランスが取れない転記を生成します。

E. エントリ ビューでのみ総勘定元帳を更新します。

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAにおける注記項目は、財務諸表に直接影響を与えず、未決済項目も作成しない情報を記録するために用いられる特別な種類の財務転記です。これらの項目は通常、支払約束、保証、その他の転記に関連しないデータの記録など、情報提供を目的として使用されます。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけてみましょう。

各オプションの説明:

C. 統計投稿を生成します。

* 正解：注記項目は統計的な記帳であり、口座や残高に直接的な財務的影響を与えるものではありません。むしろ、情報記録として機能し、報告や参照目的でよく使用されます。例えば、注記項目には、実際の売掛金を発生させることなく、顧客の支払い約束を記録する場合があります。

* 参考: SAP ドキュメントによると、注記された項目は、口座残高や財務諸表に影響を与えないため、統計転記として分類されます。

D. バランスが取れない転記を生成します。

* 正解：注記項目は複式簿記の原則に従わず、つまり貸借対照表の残高が一致しません。借方と貸方の記入を必要とする標準的な財務記帳とは異なり、注記項目は独立した記入項目であり、残高一致を必要としません。これは、注記項目が総勘定元帳の残高に影響を及ぼすことを意図していないためです。

* 参照: SAP ドキュメントでは、記載された項目は非残高転記であり、情報提供のみを目的として使用されていることが確認されています。

E. エントリ ビューでのみ総勘定元帳を更新します。

* 正解：注記項目は総勘定元帳のエントリビューに記録されますが、通常の転記と同様に総勘定元帳 (G/L) を更新するものではありません。注記項目の出所を明確にするためエントリビューに表示されますが、総勘定元帳全体の財務残高には影響しません。

* 参照: SAP ドキュメントでは、記録された項目は追跡可能性のためにエントリ ビューに表示されますが、G/L の財務残高には影響しないことが強調されています。

A. 支払プログラムおよび督促プログラムからアクセスできます。

* 誤り：メモ項目は未決済項目や財務債務を表していないため、支払プログラムや督促プログラムではアクセスできません。これらのプログラムは、請求書や支払などの実際の未決済項目のみを対象としており、メモ項目はあくまでも情報提供を目的としています。

* 参照: 支払および督促プログラムは、メモされた項目ではなく、財務上の影響がある未決済項目のみを処理します。

B. 顧客アカウントと仕入先アカウントの未処理項目として管理されます。

* 誤り：注記項目は、顧客口座または仕入先口座の未決済項目として管理されません。未決済項目は決済を必要とする取引（請求書支払など）ですが、注記項目は情報提供のみを目的としており、決済は不要です。これらは口座照合プロセスには含まれません。

* 参照: 未処理項目の管理は、メモされた項目ではなく、アカウント残高に影響する取引にのみ適用されます。

SAP ドキュメントへの主な参照:

- * 売掛金および買掛金向け SAP S/4HANA Finance: 注記項目の概念と財務会計におけるその役割について説明します。
- * SAP ヘルプ ポータル - 注目項目: SAP S/4HANA の注目項目の特性と使用方法に関する詳細なガイダンスを提供します。
- * SAP S/4HANA の複式簿記: 残高と財務上の影響の観点から、注記された項目が標準転記とどのように異なるかを強調します。
- * 総勘定元帳エントリ ビュー: エントリ ビューで記録された項目がどのように記録されるかを説明しますが、財務残高には影響しません。

質問: 44

あなたの組織は、SAP Intercompany Matching and Reconciliation (ICMR) について聞いて、それが自社のニーズに対応できるかどうか疑問に思っています。

ICMR はどのような目的に役立ちますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 連結会社間の差異を修正するための自動転記を生成する
- B. 設定されたルールに基づいて連結会社間収益と費用の消去をトリガーします
- C. ワークフローをトリガーする会社間データの不一致をハイライトして解決する
- D. 連結会社間売掛金/買掛金残高の自動消去を生成する

正解: C,D ([コメントを发表する](#))

SAP Intercompany Matching and Reconciliation (ICMR) は、異なる会社コードまたは法人にまたがる連結会社間取引の識別、照合、および調整を支援するために設計されたツールです。連結会社間残高と取引の一貫性と正確性を確保し、財務報告と連結会計に不可欠な要素となります。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

C. ワークフローをトリガーする会社間データの不一致をハイライトして解決する

* 正解 :ICMRの主な目的の一つは、連結会社間取引および残高における不一致を特定することです。不一致が検出されると、ICMRはワークフローをトリガーして関係する関係者（会計担当者やコントローラーなど）に通知し、問題を調査 解決できるようにします。

これにより、企業間データが正確かつ効率的に調整されます。

* 参考: SAP のドキュメントによると、ICMR は、会社間取引の不一致や矛盾を強調表示するツールと、解決を容易にするワークフロー機能を提供します。

D. 連結会社間売掛金/買掛金残高の自動消去を生成する

* 正解 :ICMRは、照合プロセスにおける連結会社間売掛金 (AR) および買掛金 (AP) 残高の自動消去をサポートしています。連結会社間の売掛金と買掛金の残高を一致させることで、ICMRは連結財務諸表においてこれらの残高が確実に消去されるようにし、手作業の負担を軽減し、精度を向上させます。

* 参考: SAPのドキュメントでは、ICMRが連結会社間売掛金の消去を自動化することを強調しています。

/AP 残高を調整プロセスの一部として管理し、連結要件への準拠を確保します。

A. 連結会社間の差異を修正するための自動転記を生成する

* 誤り: ICMRは不一致を特定し、その解決を促進しますが、これらの不一致を修正するための転記を自動的に生成するわけではありません。代わりに、不一致をハイライト表示するツールを提供し、ユーザーが必要に応じて手動で調整または修正を転記できるようにします。自動転記は通常、仕訳や連結調整など、SAP S/4HANAの他の機能によって処理されます。

* 参照: ICMR は調整と不一致の解決に重点を置いています、修正転記を自動化するわけではありません。

B. 設定されたルールに基づいて連結会社間収益と費用の消去をトリガーします

* 誤り: 連結会社間収益および費用の消去は、通常、連結会計プロセス中に処理され、ICMRでは処理されません。連結会社間収益、費用、利益の消去ルールの設定と実行には、SAP Group Reporting や Consolidation Cockpit などのツールが使用されます。

ICMR は、連結消去ではなく、売掛金/買掛金残高と取引データの調整に重点を置いています。

* 参照: 連結会社間の収益と費用の消去は連結機能の一部であり、ICMR の範囲外です。

SAP S/4HANA ドキュメントへの主な参照:

* SAP S/4HANA Finance for Intercompany Reconciliation: 連結会社間の不一致を識別して解決する際の ICMR の目的と機能について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 会社間照合および調整: ICMR が不一致を強調表示し、AR/AP 消去を自動化する方法について詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA の連結プロセス: 連結中に収益、コスト、利益の連結会社間消去がどのように処理されるかについて説明します。

* ICMR でのワークフロー統合: 会社間の不一致を解決するためにワークフローがどのようにトリガーされるかを強調表示します。

質問: 45

資産取得について、発注書を参照せずに仕入先請求書を転記しました。どのような会計伝票が生成されますか？

- A. 会計原則ごとに1つの文書と、すべての会計原則に対して1つの文書
- B. すべての会計原則を1つの文書にまとめる
- C. 会計原則ごとに別々の文書を作成する
- D. 会計原則ごとに1つの文書

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 46

代替勘定をG/L勘定に割り当てようとしたのですが、エラーメッセージが表示されます。原因は何でしょうか？

- A. 運用勘定科目に代替勘定科目を割り当てていません。
- B. 会社コードに対して代替アカウントが作成されていません。
- C. 会社に代替勘定科目を割り当てていません。
- D. 代替アカウントは、会社コードの別の G/L アカウントにすでに割り当てられています。

正解: D ([コメントを发表する](#))

SAP S/4HANA Cloud のすべてのリファレンスを含む包括的で詳細な解説 SAP S/4HANA では、代替勘定科目を使用して、オペレーショナル勘定科目表から代替勘定科目表に G/L 勘定科目をマッピングします。このマッピングは、複数の勘定科目表を使用する場合 グループレポートや連結会計など)に不可欠です。代替勘定科目を G/L 勘定科目に割り当てる際にエラーが発生した場合は、以下に示すいずれかの理由が考えられます。それぞれの選択肢を分析して、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

D. 代替アカウントは、会社コードの別の G/L アカウントにすでに割り当てられています。

* 正解 :SAP S/4HANAでは、各代替勘定は会社コードごとに1つの勘定科目にのみ割り当てることができます。代替勘定が同じ会社コード内の別の勘定科目に既にマッピングされている場合、再度割り当てようとするとエラーが発生します。これにより、運用勘定と代替勘定間のマッピングが一意かつ明確になります。

* 参照: SAP ドキュメントによると、レポートおよび連結中に競合が発生しないように、代替アカウントは会社コード内の G/L アカウントと 1 対 1 の関係を持つ必要があります。

A. 運用勘定科目に代替勘定科目を割り当てていません。

* 誤り : 代替勘定体系を運用勘定体系に割り当てることは、代替勘定を使用するための前提条件ですが、この設定の問題により、割り当て時にエラーが発生するだけでなく、すべての機能が利用できなくなります。これが問題であれば、代替勘定体系を割り当てる手順にさえ到達できません。

* 参照: 代替勘定科目表を運用勘定科目表に割り当てることはグローバル設定ステップであり、個々の勘定科目の割り当て中に直接エラーが発生することはありません。

B. 会社コードに対して代替アカウントが作成されていません。

* 誤り: 代替勘定は会社コード レベルではなく勘定科目レベルで定義されます。

代替勘定科目が代替勘定科目表に存在しない場合、システムではそもそもその勘定科目を選択できません。この問題により、割り当て時にエラーが発生するのではなく、代替勘定科目が選択肢として表示されなくなります。

* 参照: 代替勘定は、同じ代替勘定コードを使用する会社コード間で共有されるため、代替勘定の作成は個々の会社コードとは無関係です。

C. 会社に代替勘定科目を割り当てていません。

* 誤り : 代替勘定科目表を会社に割り当てることは、代替勘定科目の使用を可能にする設定手順です。ただし、この問題により機能が完全に利用できなくなるだけで、割り当てプロセス中にエラーが発生するわけではありません。もしこれが問題であれば、代替勘定科目の割り当て手順に進むことはできません。

* 参照: 代替勘定科目表を会社に割り当てることは、代替勘定を使用するための前提条件ですが、個別の勘定科目の割り当て中に直接エラーが発生することはありません。

SAP S/4HANA ドキュメントへの主な参照:

* SAP S/4HANA Finance の勘定科目表設定: 運用勘定科目表と代替勘定科目表の関係と代替勘定割当の要件について説明します。

- * SAP ヘルプ ポータル - 代替アカウント: G/L アカウントに代替アカウントを割り当てるためのルールと制限に関する詳細なガイダンスを提供します。
- * 勘定科目の統合: 正確なレポートのために、運用勘定と代替勘定間の一意のマッピングの重要性を強調します。
- * 会社コードの構成: 代替アカウントを会社コード間で共有する方法と、一意の割り当ての必要性について説明します。

有効的な**C-TS4FI-2023**問題集はJPNTTest.com提供され、**C-TS4FI-2023**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**C-TS4FI-2023**試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-TS4FI-2023試験問題集はもう更新されました。ここで**C-TS4FI-2023**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-TS4FI-2023-mondaishu> **92問、30%ディスカウ**
ント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 47

SAP Fiori Launchpad では、ユーザーにページはどのように割り当てられますか？

- A. ユーザーに割り当てられたビジネスロールに割り当てられたセクション経由
- B. ユーザーに割り当てられているビジネスロールに直接
- C. ユーザーに割り当てられているビジネスロールに割り当てられたグループ経由
- D. ユーザーに割り当てられているビジネスロールに割り当てられたスペース経由

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Fioriでは、SAP Fiori Launchpadがユーザーがアプリケーション (アプリ)やコンテンツにアクセスするための中心的なエントリポイントとなります。ユーザーへのページの割り当ては、スペース、ページ、ビジネスロールを含む階層構造を通じて管理されます。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけてみましょう。

各オプションの説明:

- D. ユーザーに割り当てられているビジネスロールに割り当てられたスペース経由

* 正解: 最新のSAP Fiori設計では、スペースはコンテンツを整理するためのコンテナとして機能し、ビジネスロールに割り当てられます。ビジネスロールはユーザーに割り当てられます。各スペースには、特定のタスクや責任に合わせてカスタマイズされたアプリやその他のコンテンツのコレクションである1つ以上のページが含まれます。これにより、ユーザーは自分のロールに関連するコンテンツのみを表示できます。

* 参考: SAP のドキュメントによると、スペースは SAP Fiori Launchpad の最上位の組織単位であり、ページやアプリへのユーザー アクセスを制御するためにビジネス ロールにリンクされています。

- A. ユーザーに割り当てられたビジネスロールに割り当てられたセクション経由

* 誤り: セクションは以前のSAP Fioriデザイン (グループやタイルなど)の一部ですが、スペースとページに基づく現在のデザインでは使用されていません。セクションはグループ

ベースのレイアウトの一部でしたが、より現代的で柔軟なスペースベースのレイアウトに置き換えられました。

* 参照: セクションの概念は時代遅れであり、現在の SAP Fiori Launchpad アーキテクチャには適用されません。

B. ユーザーに割り当てられているビジネスロールに直接

* 誤: ページはビジネスロールに直接割り当てられるのではなく、スペースの一部であり、スペースはビジネスロールに割り当てられます。この階層構造により、異なるロール向けのコンテンツをより適切に整理し、柔軟に管理できます。

* 参照: ページはスペース内にネストされており、スペースはページに直接割り当てられるのではなく、ビジネスロールに割り当てられます。

C. ユーザーに割り当てられているビジネスロールに割り当てられたグループ経由

* 誤り: グループの概念は、アプリをグループに整理する以前のSAP Fiori設計の一部でした。しかし、このアプローチは、最新のSAP Fiori Launchpad設計ではスペースページモデルに置き換えられました。現在のフレームワークでは、グループはコンテンツの整理に使用されなくなりました。

* 参考: グループベースのデザインは廃止され、スペースとページに置き換えられました。

SAP ドキュメントへの主な参照:

* SAP Fiori Launchpad 設定ガイド: スペース ページ モデルと、スペースをビジネスロールに割り当てる方法について説明します。

* SAP ヘルプポータル - SAP Fiori Launchpad: スペースとページを使用してコンテンツを整理するための詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA のビジネスロール: SAP Fiori Launchpad 内のスペースとページへのアクセスを割り当てるためにビジネスロールがどのように使用されるかについて説明します。

* グループからスペースへの移行: SAP Fiori における古いグループベースのデザインから最新のスペース ページ デザインへの移行を強調します。

質問: 48

G/L アカウムの勘定科目チャート レベルで管理されるフィールドはどれですか?

注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. グループアカウント番号
- B. フィールドステータスグループ
- C. アカウムのグループ
- D. 代替口座番号
- E. 短いテキスト

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 49

トランザクション AS91 を介して固定資産会計のレガシーデータ転送で何を実現できますか?

- A. 引継ぎ値の転記

- B. レガシーデータ転送の会社コードステータスの設定
- C. マスターデータの作成
- D. 総勘定元帳に要約償却を転記する

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 50

SAP S/4HANAでは、唯一の真実の情報源となるユニバーサルジャーナル テーブル (ACDOCA) が導入されました。テーブルACDOCAにはどのような明細が記録されますか？

注: この質問には3つの正解があります。

- A. 評価から生じる二次コスト
- B. 連結会社間転記
- C. 配布によって生じる主なコスト
- D. 減価償却額を計画する
- E. コストセンターの予算コスト

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 51

固定資産会計におけるセグメントレポートの有効化の結果は何ですか？ 注: この質問には2つの正解があります。

- A. セグメントのアクティブ化を反転できます。
- B. セグメントは既存の資産マスターデータ内で自動的に更新されます。
- C. セグメントは追加のアカウント割り当て構成に表示されます。
- D. セグメントは、資産マスターデータの画面レイアウトに表示されます。

正解: C,D ([コメントを发表する](#))

質問: 52

顧客の未処理項目をクリアしましたが、このアクションを元に戻したいと考えています。利用可能なオプションは何ですか？ 注: この質問には2つの正解があります。

- A. 決済書類を再投稿する
- B. 決済伝票を元に戻す
- C. 決済伝票をリセットして取り消す
- D. 決済伝票をリセットする

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAでは、顧客の未消込明細（請求書と支払の照合など）を消込すると、取引を消込済みとしてマークする消込伝票が作成されます。後から消込が間違っていた、または取り消す必要があることに気付いた場合、SAPはこのような状況に対処するための具体的なオプションを提供しています。それぞれのオプションを分析し、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

- C. 決済伝票をリセットして取り消す

* 修正 :このオプションを使用すると、消込をリセット (つまり、消込済明細を再度オープン) し、その後、消込伝票自体を取り消すことができます。消込伝票を取り消すことで、元の消込エントリがシステムから削除され、消込済明細が元のオープン状態に戻ります。これは、消込伝票にエラーがある場合や、消込期間が誤っている場合に便利です。

* 参照: SAP のドキュメントによると、決済伝票をリセットして取り消すことは、決済プロセスを完全に元に戻すための標準的な手順です。

D. 決済伝票をリセットする

* 修正 :このオプションを使用すると、消込をリセットできます。これにより、消込伝票を取り消すことなく、以前に消込済みの明細が再度オープンされます。消込伝票は履歴記録としてシステムに残りますが、明細はオープン状態に戻ります。これは、後続の処理 (別の支払の適用や消込の修正など) のために明細を再度オープンする必要がある場合に便利です。

* 参照: SAP ドキュメントでは、消込伝票をリセットすると、監査目的で消込伝票が保持されながら未消込明細が復元されることが確認されています。

A. 決済書類を再投稿する

* 誤り : 消込伝票の再転記は、消込処理を元に戻す有効な手段ではありません。消込伝票を作成した後は、「再転記」して消込を元に戻すことはできません。代わりに、リセットまたはリセット & リバース機能を使用して明細を再度オープンする必要があります。

* 参照: 再転記は他の種類の文書 (例: 誤った転記) に適用されますが、決済文書には関係ありません。

B. 決済伝票を元に戻す

* 誤り : 消込伝票の取消はプロセスの一部ですが、単独では実行できません。消込伝票の取消を行う前に、まず消込をリセットして明細を再開する必要があります。したがって、このオプションは単独では不完全であり、誤りです。

* 参照: SAP では、決済伝票を取り消す前に決済をリセットする必要があります。

SAP ドキュメントへの主な参照:

* 売掛金および買掛金向け SAP S/4HANA Finance: クリアリングプロセスと、リセット機能および取消機能を使用してクリアリングアクションを元に戻す方法について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 消込伝票: SAP S/4HANA での消込伝票のリセットと取り消しに関する詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA での未消込明細管理: 消込伝票が未消込明細にどのように影響し、その管理方法を説明します。

* 財務書類の取り消し: 決済済項目をリセットした後、決済書類を取り消すために必要な手順を強調表示します。

質問: 53

SAP S/4HANA システムにおける督促プロセスの必須の 3 つのステップは何ですか?

注: この質問には 3 つの正解があります。

A. 督促実行をスケジュールする

- B. 督促提案を承認する
- C. 督促提案を変更する
- D. 督促状印刷を開始する
- E. 督促プログラムのパラメータを維持する

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 54

財務会計でクレジットメモを入力していますが、入力した支払条件が無視される理由がわかりません。

理由は何ですか? 注: この質問には2つの正解があります。

- A. クレジットメモが財務会計に入力されました。
- B. クレジットメモは請求書を参照せずに作成されました。
- C. クレジットメモの「参照」フィールドが空白です。
- D. 入力された支払条件に基づいて決定された支払期日は過去の日付です。

正解: [A,D \(コメントを発表する\)](#)

SAP S/4HANAでは、財務会計 (FI) でクレジットメモを入力する際に、伝票入力時に指定した支払条件が無視されることがあります。この動作は、クレジットメモの処理方法と支払期日の計算方法に関連する特定の理由により発生する可能性があります。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

A. クレジットメモが財務会計に入力されました。

* 正解: 財務会計 (例:ランザクションFB01またはFB70) でクレジットメモを直接入力した場合、システムは支払条件を自動的に適用しません。支払条件は通常、売掛金 (AR) または買掛金 (AP) プロセスで使用され、支払期日や現金割引の計算に影響します。財務会計では、支払スケジュールの管理よりも財務への影響の計上に重点が置かれているため、支払条件はしばしば無視されます。

* 参照: SAP ドキュメントによると、支払条件は主に AR/AP モジュールに関連し、ドキュメントが FI に直接転記される場合には適用されない可能性があります。

D. 入力された支払条件に基づいて決定された支払期日は過去の日付です。

* 正解: 入力された支払条件に基づいて計算された支払期日が過去の日付になる場合、システムはその支払条件を無視します。これは、SAPが過去の支払期日を処理上無効と見なすためです。代わりに、システムは現在日付または別のデフォルト値を支払期日として使用します。

* 参照: SAP ドキュメントでは、結果として生じた支払期日が転記日より早い場合は支払条件が無視され、財務転記の論理的な一貫性が確保されることが確認されています。

B. クレジットメモは請求書を参照せずに作成されました。

* 誤り: クレジットメモが請求書を参照しているかどうかは、支払条件の適用に直接影響しません。支払条件は、クレジットメモ自体の設定に基づいて決定され、請求書との関係に基づいて決定されるわけではありません。請求書の参照はクレジットメモの他の側面に影響

を与える可能性があります、支払条件が無視される理由を説明するものではありません。

* 参照: 請求書参照がない場合、調整に影響しますが、本質的には支払条件の使用を妨げるものではありません。

C. クレジットメモの「参照」フィールドが空白です。

* 誤り :クレジットメモの「参照」フィールドは、文書を外部参照や内部識別子にリンクさせるなど、情報提供を目的として使用されます。このフィールドを空白のままにしても、支払条件の適用には影響しません。システムは、「参照」フィールドの内容ではなく、システム設定と文書設定に基づいて支払条件を決定します。

* 参照: 「参照」フィールドはオプションであり、支払い条件の処理には影響しません。

SAP ドキュメントへの主な参照:

* 売掛金および買掛金向け SAP S/4HANA Finance: AR/AP プロセスで支払条件がどのように適用されるか、また FI で無視される可能性がある理由について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 支払条件の設定: 支払条件の計算方法と、特定のシナリオで支払条件を無視できる理由について詳細なガイダンスを提供します。

* 財務会計におけるクレジットメモ処理 : FI と AR/AP におけるクレジットメモ処理の違いを強調します。

* SAP S/4HANA での期日計算: 期日を決定する方法と支払条件が無視される条件について説明します。

質問: 55

支払い方法を定義します。

会社コードレベルで定義するパラメータはどれですか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 許可された通貨
- B. 最低支払額と最高支払額
- C. 外貨可
- D. 支払い方法

正解: B,C ([コメントを发表する](#))

質問: 56

FI-AA 勘定決定をどのレベルで定義しますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 勘定科目表
- B. 減価償却表
- C. クライアント
- D. 会社コード

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 57

財務会計でクレジットメモを入力しているのですが、入力した支払条件が無視されるのはなぜでしょうか？理由は何でしょうか？

注: この質問には2つの正解があります。

- A. クレジットメモの「参照」フィールドが空白です。
- B. クレジットメモは請求書を参照せずに作成されました。
- C. 入力された支払条件に基づいて決定された支払期日は過去の日付です。
- D. クレジットメモが財務会計に入力されました。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 58

代替アカウントを G/L アカウントに割り当てようとしたのですが、エラーメッセージが表示されます。

理由は何でしょうか？

- A. 会社に代替勘定科目を割り当てていません。
- B. 代替アカウントは、会社コードの別の G/L アカウントにすでに割り当てられています。
- C. 会社コードに対して代替アカウントが作成されていません。
- D. 運用勘定科目に代替勘定科目を割り当てていません。

正解: B ([コメントを發表する](#))

質問: 59

標準的な販売プロセスでは、財務会計で COGS 転記が生成されるのはいつですか？

- A. 請求書を作成する
- B. 配送書類を作成する
- C. PGI (商品出庫後)を実行します。
- D. 顧客請求書を発行する

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 60

転記期間バリエーションを使用して、どのレベルで転記を制限できますか？注: この質問には2つの正解があります。

- A. サプライヤーアカウント
- B. 総勘定元帳勘定
- C. 顧客調整勘定
- D. 固定資産番号

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 61

SAP S/4HANA ではどの通貨タイプがデフォルトになっていますか？注: この質問には2つの正解があります。

- A. 10 = 会社コード通貨

- B. 00 = 文書の通貨
- C. 30 = グループ通貨
- D. 20 = 管理地域通貨

正解: **A,B** ([コメントを发表する](#))

有効的な**C-TS4FI-2023**問題集はJPNTTest.com提供され、**C-TS4FI-2023**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**C-TS4FI-2023**試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-TS4FI-2023試験問題集はもう更新されました。ここで**C-TS4FI-2023**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-TS4FI-2023-mondaishu> **92**問、**30%**ディスカウ**ント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **62**

システムでは並行通貨が使用されています。
パラレル通貨の減価償却領域の転記インジケータとは何ですか？

- A. 定期的にG/Lに投稿する
- B. リアルタイムで総勘定元帳に投稿
- C. APCリアルタイムと減価償却を定期的に投稿します
- D. 総勘定元帳に転記しない

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

質問: **63**

勘定科目を新しい会社コードに拡張しようとしていますが、データが不完全であるためエラーが発生します。フィールドステータスですべてカスタマイズ可能です。
G/L アカウトを拡張するときに常に更新する必要があるフィールドはどれですか？ 注: この質問には2つの正解があります。

- A. アカウト通貨
- B. ソートキー
- C. 口座番号
- D. フィールドステータスグループ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: **64**

顧客からの入金を、支払差額に対する残余項目として計上します。どのような影響がありますか？ 注: この質問には2つの正解があります。

- A. 元の未決済項目と残余項目の両方が未決済項目としてアカウントに残ります。
- B. 残余項目は原価勘定に償却されます。
- C. 残余品目は新たな売掛金になります。

D. 元の文書と支払いがクリアされます。

正解: **A,C** ([コメントを发表する](#))

質問: **65**

連結会社間照合および調整 (ICMR) をどのように定義しますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

A. SAP S/4HANA コアに組み込まれたソリューションです。

B. SAP Group Reporting Data Collection の並列実装を必要とするソリューションです。

C. グループ レポートと統合できるソリューションです。

D. Central Finance 内のシステム間の取引照合を容易にするソリューションです。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: **66**

終了した転記期間に転記された伝票の取消を転記します。

元の文書とは異なる日付で取消を入力できるようにするには、どのオブジェクトを構成しますか?

A. 反転法

B. 取り消し理由

C. 会社コード

D. ドキュメントタイプ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: **67**

GR/IR口座の残高がゼロではないことにお気づきですか? 原因は何でしょうか?

注: この質問には 2 つの正解があります。

A. 発注書には、まだ請求書を受け取っていない部分的な商品受領が含まれています。

B. 発注書には部分的な請求書受領がありますが、商品受領はまだありません。

C. 発注書には、数量と値が同じ商品受領書と請求書受領書があります。

D. 発注書には、数量は同じだが値が異なる商品受領書と請求書受領書があります。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: **68**

売掛金管理の理由コードで何を制御できますか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

A. 顧客に送信される支払通知の種類

B. 残余項目が計上されるアカウント

C. 支払いの文書の種類

D. 頭金の特別勘定科目

E. 信用限度額チェックから紛争残余品目を除外する

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAでは、売掛金 (AR) の理由コードは、支払、残余項目、係争案件など、特定の取引に関する追加情報を提供するための強力なツールです。これにより、売掛金管理に関連するプロセスをより適切に管理およびカスタマイズできます。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけてみましょう。

各オプションの説明:

A. 顧客に送信される支払通知の種類

* 正解: 理由コードは、顧客に送信される支払通知の種類に影響を与える可能性があります。例えば、取引の理由 (一部支払異議申し立てなど) に基づいて、督促通知、支払催促、その他の連絡を送信するかどうかを決定できます。これにより、取引の状況に基づいて適切な対応が確実に行われます。

* 参照: SAP ドキュメントによると、理由コードはトランザクションを分類し、支払通知の生成などの特定のアクションをトリガーするために使用されます。

B. 残余項目が計上されるアカウント

* 正解: 理由コードは、一部支払または貸倒償却の際に残余項目が計上される勘定科目を制御できます。例えば、顧客が一部支払を行い残余金額を残した場合、理由コードによって残余金額が特定の勘定科目 (例: 仕訳帳) に計上されるかどうかが決まります。

(例: 決済口座係争項目口座など)。これにより、残余項目の適切な会計処理が保証されます。

* 参照: SAP ドキュメントでは、理由コードを使用して残余項目の転記動作を定義し、正確な財務レポートを保証することが確認されています。

C. 支払いの文書の種類

* 誤り: 支払いの伝票種別は、理由コードではなく、支払いプロセスの設定によって決定されます。理由コードは取引に関する追加情報を提供しますが、支払いに割り当てられる伝票種別に直接影響を与えるものではありません。

* 参照: ドキュメントタイプは支払プログラムで個別に設定され、理由コードとは無関係です。

D. 頭金の特別勘定科目

* 誤り: 頭金の特殊仕訳は、理由コードではなく、特殊仕訳取引の設定時に定義されます。理由コードは、頭金、保証金、その他の特殊取引に固有の特殊仕訳の割り当てや管理には使用されません。

* 参照: 特殊勘定科目区分は独立して設定され、理由コードとは無関係です。

E. 信用限度額チェックから紛争残余品目を除外する

* 正解: 理由コードを使用すると、異議のある残余項目を信用限度額チェックから除外できます。

例えば、特定の理由コードを用いて残余項目が異議申し立て中としてマークされている場合、その項目は信用リスクの計算から除外されます。これにより、異議申し立ての対象となる金額が顧客の信用力に悪影響を及ぼすことを防ぎます。

* 参照: SAP ドキュメントでは、理由コードを使用して異議のある項目にフラグを付け、クレジット管理プロセスから除外することで、公正なクレジット評価を保證できることが強調されています。

SAP ドキュメントへの主な参照:

* SAP S/4HANA Finance for Accounts Receivable: 支払通知、残余項目、与信管理への影響など、売掛金管理における理由コードの役割について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - AR の理由コード: 売掛金プロセスでの理由コードの設定と使用に関する詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA の与信管理: 理由コードを使用して、紛争のある項目を与信限度額チェックから除外する方法について説明します。

* 残余項目の転記: 特定のアカウントへの残余項目の転記を制御するための理由コードの使用を強調表示します。

質問: 69

統合の準備を直接サポートするために使用されるオブジェクトはどれですか?

- A. 機能領域
- B. セグメント/利益センター
- C. 会社/取引先
- D. 元帳/元帳グループ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 70

次の組織要素のうち、複数の会社コードで共有できるものはどれですか?

注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 利益センター
- B. 植物
- C. ビジネスエリア
- D. 営業組織
- E. セグメント

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 71

貴社は IFRS 会計原則に従っており、「コンシューマー製品」と「プロフェッショナル製品」という 2 つの主要部門の完全な財務諸表を発行する必要があります。

このシナリオでセグメントレポートを実現するには何が必要ですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 利益センター
- B. セグメント
- C. 事業分野
- D. ドキュメントの分割

E. 収益性セグメント

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 72

減価償却表を最もよく表す記述はどれですか？

この質問には正解が2つあります。

- A. 減価償却表には、減価償却領域の追加と削除のための規定を備えた複数の減価償却領域が含まれています。
- B. 減価償却表は国の法定要件によって義務付けられており、そのまま採用する必要があります。
- C. 減価償却表は会社コード固有であるため、2つの会社コードで同じ減価償却表を使用することはできません。
- D. 減価償却表は、SAP S/4HANA とともに提供される国固有のオブジェクトです。

正解: A,D ([コメントを发表する](#))

質問: 73

SAP S/4HANA で購買発注発生額を実装したいと考えています。

次のユースケースのうち、関連するものはどれですか？ 注: この質問には2つの正解があります。

- A. 消耗品の購入
- B. 在庫用原材料の購入
- C. 固定資産の購入（直接資本化方式を使用）
- D. サービスの購入

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 74

3ウェイマッチは、SAP S/4HANAで調達取引を転記するために使用される標準的な手順です。どのように機能しますか？

- A. 請求書は商品受領を参照して作成する必要があります。
- B. 購入依頼を参照して購入注文を作成する必要があります。
- C. 3つのロジスティクスステップごとに財務文書が生成されます。
- D. 購買発注を参照して在庫を作成する必要があります。

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 75

ドキュメントの入力ビューでは、総勘定元帳ビューよりも項目が少ないことがわかります。

その理由は何でしょうか？

- A. 補助元帳アカウントは、総勘定元帳ビューに詳細に表示されます。
- B. 拡張元帳が設定されました。

C. 売上税は総勘定元帳ビューに詳細に転記されます。

D. ドキュメント分割が有効になりました。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 76

印刷プログラムとそのバリエーションはどのレベルで対応タイプに割り当てることができますか？

注: この質問には 2 つの正解があります。

A. クライアント

B. システム

C. 会社

D. 会社コード

正解: ([正解を表示します](#))

有効的な**C-TS4FI-2023**問題集はJPNTTest.com提供され、**C-TS4FI-2023**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**C-TS4FI-2023**試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-TS4FI-2023試験問題集はもう更新されました。ここで**C-TS4FI-2023**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-TS4FI-2023-mondaishu> **92**問、**30%**ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 77

1つの資産の減価償却費を2つのコストセンターに転記したいのですが、どうすればよいでしょうか？

A. 資産マスターデータに2つの実際のコストセンターを割り当てます。

B. 資産マスターデータに実コストセンターと統計コストセンターを割り当てます。

C. 定期的に決済する資産マスターデータ内の統計指図を2つのコストセンターに割り当てます。

D. 定期的に決済する資産マスターデータ内の実際の内部指図を2つの原価センタに割り当てます。

正解: **D** ([コメントを发表する](#))

質問: 78

次のオブジェクトのうち、資産への原価転記の統計アカウント割り当てのみであるものはどれですか？

A. コストセンター

B. 利益センター

C. 内部命令

D. WBS要素

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 79

グループ勘定科目表はどこに割り当てますか？

- A. 会社
- B. 総勘定元帳勘定
- C. 会社コード
- D. 運用勘定科目表

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 80

減価償却領域01の特徴は何ですか？ 注 :この質問には2つの正解があります。

- A. 主要元帳 OL にリンクされている必要があります。
- B. 常にリアルタイムで投稿する必要があります。
- C. 原価計算評価領域タイプとして定義する必要があります。
- D. 他の領域から値を引き継ぐことはできません。

正解: A,D ([コメントを发表する](#))

質問: 81

資産に予定外の減価償却を計上しました。FI-AAとFI-GLにはどのような影響がありますか？

- A. 転記は、FI-AA ではリアルタイムで行われ、減価償却転記プログラムが実行されると FI-GL で行われます。
- B. 転記は FI-AA と FI-GL でオンラインでリアルタイムに行われます。
- C. 減価償却転記プログラムが実行されるまで、FI-AA および FI-GL では転記は行われません。
- D. 転記は、FI-AA ではリアルタイムで実行され、定期転記プログラムが実行されると FI-GL で実行されます。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 82

資産に予定外の減価償却を計上しました。FI-AAとFI-GLにはどのような影響がありますか？

- A. 転記は FI-AA と FI-GL でオンラインでリアルタイムに行われます。
- B. 転記は、FI-AA ではリアルタイムで行われ、減価償却転記プログラムが実行されると FI-GL で行われます。
- C. 転記は、FI-AA ではリアルタイムで実行され、定期転記プログラムが実行されると FI-GL で実行されます。

D. 減価償却転記プログラムが実行されるまで、FI-AA および FI-GL では転記は行われません。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 83

顧客と 10,000 ユーロの金額を保証する契約を締結しました。この保証を SAP S/4HANA に記録するとどうなるでしょうか？

- A. 注目すべき2つの項目
- B. 注目項目1件
- C. 2つの統計項目
- D. 1つの統計項目

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 84

資産会計「貸借対照表」の勘定科目割当として WBS 要素 (投資管理とは無関係) を有効化し、同一」を有効にしました。

結果はどうなりますか？注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 資産が資本化された後は、資産マスター レコードで WBS 要素を変更できなくなります。
- B. WBS 要素は決済に使用できなくなりました。
- C. 計画減価償却記帳中に、資産マスタ データの WBS 要素を変更できます。
- D. WBS 要素は、資産マスター レコードに入力できます。

正解: A,D ([コメントを发表する](#))

質問: 85

3ウェイマッチは、SAP S/4HANAで調達取引を転記するために使用される標準的な手順です。どのように機能しますか？

- A. 請求書は商品受領を参照して作成する必要があります。
- B. 購入依頼を参照して購入注文を作成する必要があります。
- C. 購買発注を参照して入庫を作成する必要があります。
- D. 3 つのロジスティクス ステップごとに財務文書が生成されます。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 86

財務諸表レポートを実行したところ、計算された純利益が予想と異なることに気づきました。この問題の原因は何でしょうか？

注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 財務諸表注記に属する負債ノードにアカウントを追加しました。
- B. 財務諸表バージョンで割り当てられていないアカウントがあります。

C. 間違ったノードにアカウントを追加しましたが、そのアカウントはアセット セクションに含まれています。

D. アカウントの残高によるアカウントグループの割り当てを選択し、負債として表示されています。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 87

SAP Business Technology Platform の機能にはどのようなものがありますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

A. データ管理と分析を提供します。

B. 顧客がステークホルダーのニーズを理解できるようにサポートします。

C. 顧客が協力して柔軟なバリュー チェーンを構築できるように支援します。

D. アプリケーションの開発と統合をサポートします。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

SAP Business Technology Platform (BTP) は、企業の SAP および非 SAP ソリューションの革新、統合、拡張を支援するツール、サービス、テクノロジーを提供する統合プラットフォームです。組織は、データ管理、分析、コラボレーション機能を活用しながら、アプリケーションの構築、拡張、統合を行うことができます。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけてみましょう。

各オプションの説明:

C. 顧客が協力して柔軟なバリュー チェーンを構築できるように支援します。

* 正解 :SAP BTPの主要機能の一つは、ビジネスネットワークとエコシステム全体にわたるコラボレーションを可能にすることです。SAP BTPは、パートナー、サプライヤー、顧客のプロセスとデータを統合することで、変化する市場の需要に適応できる柔軟なバリューチェーンの構築を支援します。これには、サプライチェーンの可視性、パートナーとのコラボレーション、プロセス自動化のためのツールが含まれます。

* 参考: SAP のドキュメントによると、SAP BTP は関係者を結び付けてシームレスなデータ交換を可能にすることでコラボレーションをサポートし、サプライチェーンの回復力と柔軟性を強化します。

D. アプリケーションの開発と統合をサポートします。

* 正解 :SAP BTPは、アプリケーション開発と統合のための堅牢なツールを提供します。開発者は、ローコード/ノーコードツール、API、そして構築済みのコネクタを使用して、カスタムアプリケーションを作成したり、既存のシステムを統合したりできます。また、このプラットフォームはマイクロサービスアーキテクチャをサポートしており、モジュール式でスケーラブルなアプリケーション開発を可能にします。

* 参考: SAP は、SAP BTP はハイブリッド ランドスケープ全体にわたってアプリケーションを開発、拡張、統合するための包括的な環境を提供することでイノベーションを加速するように設計されていることを強調しています。

A. データ管理と分析を提供します。

* 誤 :SAP BTPはデータ管理および分析機能 (SAP Data Warehouse Cloud、SAP Analytics Cloudなどを通じて)を提供していますが、この質問の文脈で強調されている主要な機能の一つではありません。ここでは分析ではなく、コラボレーションとアプリケーション開発／統合に重点が置かれています。

* 参考: データ管理と分析は SAP BTP の一部ですが、コラボレーションと統合というコア機能に比べると二次的なものです。

B. 顧客がステークホルダーのニーズを理解できるようにサポートします。

* 誤り :SAP BTPはコラボレーションとデータに基づく洞察を可能にしますが、顧客が「ステークホルダーのニーズを理解する」ことを直接支援することに重点を置いていません。これは、SAP BTPの技術的機能というよりも、ビジネス戦略や顧客関係管理 (CRM) ツールに近いものです。

* 参考: SAP BTP は、利害関係者の分析や顧客ニーズの評価ではなく、主に統合、開発、コラボレーションに重点を置いたテクノロジー プラットフォームです。

SAP ドキュメントへの主な参照:

* SAP ビジネス テクノロジー プラットフォームの概要: コラボレーション、アプリケーション開発、統合など、SAP BTP のコア機能について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - SAP BTP 機能: SAP BTP が柔軟なバリュー チェーンとアプリケーション開発をどのようにサポートするかについての詳細なガイダンスを提供します。

* SAP BTP との統合と拡張性: ハイブリッド ランドスケープ全体でシームレスな統合を可能にし、SAP ソリューションを拡張するプラットフォームの役割を強調します。

* SAP BTP のコラボレーション ツール: SAP BTP がビジネス ネットワークおよびエコシステム全体でコラボレーションを促進する方法について説明します。

質問: 88

複数の会社コードを1回の支払処理に含めることを希望しています。会社コードの前提条件は何ですか？

- A. 同じ制御領域に属している必要があります。
- B. すべて同じ会社に属している必要があります。
- C. 同じ国に所在している必要があります。
- D. 支払いトランザクションの構成は同じである必要があります。

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAでは、複数の会社コードを単一の支払処理に含める場合、支払プログラムが複数の会社コード間で一貫して支払を処理できるように、特定の前提条件を満たす必要があります。それぞれの選択肢を分析して、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

D. 支払いトランザクションの構成は同じである必要があります。

* 正解 : 複数の会社コードを単一の支払処理に含めるには、支払取引の設定を共通化する必要があります。これには、支払方法、取引銀行、銀行決定、その他の支払関連パラメータなど

の設定が含まれます。設定の一貫性を保つことで、支払プログラムは複数の会社コード間で支払を均一に処理できるようになります。

* 参照: SAP ドキュメントによると、支払プログラムでは、1 回の実行で複数の会社コードの支払いを処理するために、一貫した支払トランザクション構成が必要です。

A. 同じ制御領域に属している必要があります。

* 誤り: 原価計算の目的で会社コードが同じ管理領域に属することはよくありますが、これは単一の支払処理に含めるための前提条件ではありません。支払処理は管理領域とは独立しており、財務会計 (FI) 設定に重点を置いています。

* 参照: 管理領域は管理会計 (CO) に関連し、財務会計 (FI) の支払処理には影響しません。

B. すべて同じ会社に属している必要があります。

* 誤り: 会社コードは、単一の支払実行に含めるために、同じ会社に属している必要はありません。会社は連結目的で使用される組織単位であり、支払実行は会社コードレベルで実行されます。設定要件を満たしていれば、異なる会社の複数の会社コードを単一の支払実行に含めることができます。

* 参考: 「会社」の概念は連結に特有のものであり、支払処理には影響しません。

C. 同じ国に所在している必要があります。

* 誤り: 複数の会社コードを同じ支払処理に含めるために、同じ国に所在する必要はありません。国固有の法的要件によって支払方法や支払形式が異なる場合がありますが、これらは会社コードごとに個別に設定できます。支払取引の設定が一貫している限り、異なる国の会社コードでも同じ支払処理に含めることができます。

* 参照: 国固有の設定は構成を通じて処理され、会社コードが 1 回の支払い実行に含まれることを妨げることはありません。

SAP ドキュメントへの主な参照:

* 支払処理のための SAP S/4HANA Finance: 一貫した支払トランザクション設定に焦点を当て、1 回の支払実行に複数の会社コードを含めるための前提条件について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - 支払プログラム設定: 支払方法、取引銀行、および支払処理のその他のパラメータの設定に関する詳細なガイダンスを提供します。

* 会社コードと管理領域の関係: SAP S/4HANA における会社コードと管理領域の違いを強調します。

* 会社コード間の支払処理: 一貫した構成を持つ複数の会社コードを支払実行に含めることができる方法について説明します。

結論:

1 回の支払実行に複数の会社コードを含めるための前提条件は次のとおりです。

* D. 支払い取引の設定は同じである必要があります。

これにより、支払いプログラムが

質問: 89

システムでは並行通貨が使用されています。

パラレル通貨の減価償却領域の転記インジケータとは何ですか?

- A. 総勘定元帳に転記しない
- B. リアルタイムで総勘定元帳に投稿
- C. APCリアルタイムと減価償却を定期的に投稿します
- D. 定期的にG/Lに投稿する

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANA Cloudのあらゆるリファレンスを含む包括的で詳細な解説。SAP S/4HANAでは、パラレル通貨を使用する場合、減価償却記帳を含むすべての財務取引が総勘定元帳 (G/L) でリアルタイムに更新されます。これは、固定資産会計 (FI-AA) と財務会計 (FI-GL) を統合するユニバーサルジャーナル (ACDOCA) によって可能になります。それぞれの選択肢を分析して、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

- B. リアルタイムで総勘定元帳に投稿

* 正解: SAP S/4HANA では、パラレル通貨の減価償却領域が G/L にリアルタイムで転記されます。

これは、ユニバーサルジャーナルにより、パラレル通貨建てのものも含め、すべての資産関連記帳が総勘定元帳に即時に反映されるためです。遅延や定期的な更新は必要ありません。

* 参照: SAP ドキュメントによると、ユニバーサルジャーナルは FI-AA と FI-GL を統合し、パラレル通貨の転記も含めすべての転記がリアルタイムで行われるようにします。

- A. 総勘定元帳に転記しない

* 誤り: このオプションは、パラレル通貨の減価償却領域がGを更新しないことを示唆しています。

ただし、SAP S/4HANA では、正確な財務報告を確保するために、パラレル通貨の減価償却領域も含め、すべての減価償却領域を G/L に転記する必要があります。

* 参照: ユニバーサル ジャーナルでは、すべての金融取引のリアルタイム転記が義務付けられており、転記されないシナリオの可能性は排除されています。

- C. APCリアルタイムと減価償却を定期的に投稿します

* 誤り :このオプションは、減価償却記帳を更新するために定期的なバッチジョブを実行する必要があった旧SAPシステム (SAP ECCなど) のシナリオを説明しています。しかし、SAP S/4HANAでは、ユニバーサルジャーナルにより、取得価額と減価償却費の両方がリアルタイムで総勘定元帳に転記されます。

* 参考: SAP S/4HANA のリアルタイム アーキテクチャにより、APC や減価償却を含むすべての資産関連の転記が即座に更新されます。

- D. 定期的にG/Lに投稿する

* 誤り :このオプションは、パラレル通貨減価償却のために総勘定元帳を更新するために定期的なバッチ処理が必要であることを前提としています。SAP S/4HANAでは、パラレル通貨を含むすべての転記がリアルタイムで行われます。ユニバーサルジャーナルにより、定期的な処理は不要になりました。

* 参照: ユニバーサル ジャーナルは、FI-AA と FI-GL 間のリアルタイム統合を保証することで、定期的なバッチ ジョブの必要性を排除します。

SAP S/4HANA ドキュメントへの主な参照:

* SAP S/4HANA Finance for Asset Accounting (FI-AA): 減価償却領域でのパラレル通貨の処理方法と、ユニバーサルジャーナルとの統合について説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - ユニバーサル ジャーナル (ACDOCA): ユニバーサル ジャーナルが FI-AA と FI-GL 全体でリアルタイムの更新を確実に行う方法について詳細なガイダンスを提供します。

* SAP S/4HANA の減価償却プロセス: パラレル通貨を含む減価償却記帳のリアルタイム性を強調します。

* FI-AA と FI-GL の統合: ユニバーサルジャーナルによって SAP S/4HANA での定期的なバッチ処理の必要性がなくなる方法について説明します。

質問: 90

SAP Business Technology Platform の機能にはどのようなものがありますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. アプリケーションの開発と統合をサポートします。
- B. 顧客が協力して柔軟なバリュー チェーンを構築できるように支援します。
- C. 顧客がステークホルダーのニーズを理解できるようにサポートします。
- D. データ管理と分析を提供します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 91

損益計算書に表示される値はどの G/L 勘定タイプからのものですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 営業外費用または収益
- B. 貸借対照表勘定
- C. 主な費用または収益
- D. 二次コスト
- E. 現金口座

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANA Cloudのすべてのリファレンスを含む包括的な詳細解説 SAP S/4HANAでは、損益計算書 (P&L)には、収益勘定または費用勘定として分類される特定の勘定科目の値が表示されます。これらの勘定科目は、特定の期間における組織の財務実績を表します。それぞれの選択肢を分析し、正しい答えを見つけましょう。

各オプションの説明:

- A. 営業外費用または収益

* 正解: 営業外費用または収益 (例: 資産売却損益利息収入、臨時項目)は損益計算書に含まれます。これらの勘定科目は、事業の中核的な営業活動には含まれないものの、全体的な財務業績に影響を与える収益または費用を表します。

* 参考: SAP ドキュメントによると、営業外収益と費用は P&L アカウトに分類され、純利益または純損失に貢献します。

C. 主な費用または収益

* 正解: 主要費用または収益勘定は、売上収益、売上原価、直接運営費など、企業の中核的な営業活動を表します。これらの勘定は損益計算書の基本的な部分であり、組織の主要な財務実績を直接反映します。

* 参考: 主要原価と収益は売上総利益と営業利益の計算に不可欠であるため、SAP では損益勘定として分類します。

D. 二次コスト

* 正解: 二次費用 (例: 内部配賦接費、間接費) も損益計算書に含まれます。これらの勘定科目は通常、管理会計 (CO) で使用され、定期的な配賦または決済を通じて損益計算書に計上されます。

* 参考: 二次コストは売上原価会計プロセスの一部であり、損益計算書に反映されて経費の完全な概要が提供されます。

B. 貸借対照表勘定

* 誤り: 貸借対照表上の勘定科目 (例: 資産負債、資本) は損益計算書には含まれません。代わりに、貸借対照表に計上されます。貸借対照表は、特定の時点における組織の財務状況のスナップショットを提供します。

* 参考: 貸借対照表勘定は収益または費用を表すものではないため、損益計算書には表示されません。

E. 現金口座

* 誤り: 現金勘定は貸借対照表 (資産の部) の一部であり、損益計算書には直接含まれません。キャッシュフローは間接的に損益計算書に影響を与えますが (例: 利息収入や利息費用を通じて)、現金勘定自体は損益計算書の勘定科目ではありません。

* 参考: 現金勘定は貸借対照表勘定として分類され、損益計算書からは除外されます。

SAP S/4HANA ドキュメントへの主な参照:

* 財務諸表の SAP S/4HANA Finance: G/L 勘定タイプがどのように分類され、P&L ステートメントに表示されるかについて説明します。

* SAP ヘルプ ポータル - アカウトタイプ: G/L アカウトを P&L および貸借対照表カテゴリに分類するための詳細なガイダンスを提供します。

* 損益計算書の構成: 損益計算書における主要コスト、二次コスト、および営業外収益/費用の役割を強調します。

* FI-AA と CO-PA の統合: レポート目的で二次コストを損益計算書に転送する方法を説明します。

有効的な**C-TS4FI-2023**問題集はJPNTest.com提供され、**C-TS4FI-2023**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**C-TS4FI-2023**試験問題集を提供します。JPNTest.com C-TS4FI-2023試験問題集はもう更新されました。ここで**C-**

TS4FI-2023問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-TS4FI-2023-mondaishu> 92問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 92

GR/IR アカウントの残高がゼロではないことに気がきました。

原因は何でしょうか? 注: この質問には2つの正解があります。

- A. 発注書には、数量は同じだが値が異なる商品受領書と請求書受領書があります。
- B. 発注書には、まだ請求書を受け取っていない部分的な商品受領が含まれています。
- C. 発注書には部分的な請求書受領がありますが、商品受領はまだありません。
- D. 発注書には、数量と値が同じ商品受領書と請求書受領書があります。

正解: ([正解を表示します](#))

有効的なC-TS4FI-2023問題集はJPNTTest.com提供され、C-TS4FI-2023試験に合格することに役に立ちます! JPNTTest.comは今最新C-TS4FI-2023試験問題集を提供します。JPNTTest.com C-TS4FI-2023試験問題集はもう更新されました。ここでC-TS4FI-2023問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/C-TS4FI-2023-mondaishu> 92問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」